

## この号の内容

- ① 医師臨床研修のあゆみ ～研修に旅立つ皆様方へ～
- ② 先輩からのメッセージ
- ③ 医療の中の対立
- ④ 研修医登録のご案内
- ⑤ プロ意識の高い医師であり、かつ魅力ある女性をめざそう！
- ⑥ Ai センターと地域医療



岡山県医師会

URL

<http://www.okayama.med.or.jp/index.html>

E-mail

[oma@po.okayama.med.or.jp](mailto:oma@po.okayama.med.or.jp)

## 医師臨床研修のあゆみ ～研修に旅立つ皆様方へ～

岡山県医師会 会長 井戸俊夫

第二次世界大戦以前にも、医師は免許取得後、一般的な診療に関して必要な修練を受ける慣わしがあったようですが、今日のような国家試験や、医師臨床研修制度の基礎は、戦後 GHQによる制度改革によって生まれました。医学部卒業後1年間インターン制度の下で研修し、その後国家試験を受けて医師免許を取得します。この1年間の身分は、学生でも医師でもなく、社会保険も給与もない極めて不安定なものでした。当然のことながら1960年代になると全日本医学生連合などによる医師国家試験阻止闘争が広がり、大変な犠牲を払ってこの制度が廃止されたのは1968年のことでした。

2年間の臨床研修を義務化すると共に、適正な給与の支払い等が定められた新しい臨床研修制度が2004年にスタートした事によって、今では研修医の地位が向上し、研修環境も次第にその質が高められています。

これから医師として研修に旅立つ皆さんは、素晴らしい先輩達の指導の下で研鑽に励み、やがてはそれを後輩達に受け継ぐこととなります。国民皆保険制度という日本の素晴らしい医療が、グローバルスタンダードの中で、今大きな岐路に立たされています。しかし、「国民に寄り添う良医」を目指した日のことだけは決して忘れないで下さい。皆さんの心の中にきつとあった筈ですから。

## 先輩からのメッセージ

岡山済生会総合病院 内科 足立卓哉 先生

こんにちは。現在岡山済生会総合病院で内科医として勤務しています足立卓哉と申します。私は同病院で初期研修を行い、そのまま内科医として働いています。

初期研修は、忙しいうえに、一つのことに時間もかかります。その中で、いかに患者さんのことを考えられるかが大事になってきます。病態をしっかり捉えること、治療方針を決めていくこと、患者さんの背景を考慮すること、多くのことを考慮しなくてはなりません。研修期間中のエピソードとして、ある患者さんに悪性腫瘍のインフォームドコンセントを行うことができました。当院では、患者さん本人、家族それぞれに病状をありのまま聞きたいかどうかアンケートを事前にとるようになっていますが、患者さんに説明するのを焦るあまり、そのアンケートを確認せずにインフォームドコンセントを行おうとし、上級医にこっぴどく怒られ

たことを覚えています。患者さんのことを考える、一つ大事なことがここにもあると思いました。

得てして初期研修期間中は治療を焦るあまり、上級医に病態のみを報告し、考察ができていないことがよくあります。ゆっくりすぎてもいけません、少し立ち止まって考える、そんな研修が理想なのかもしれません。現実には難しいとは思いますが、できることならカルテを書くことに必死になりすぎず、色々勉強しながら研修できれば良いと思います。

初期研修は、ある程度自分のカタチを決めるうえでも大事な期間です。例えば、ある病態に関して上級医が患者さんに説明するのを聞くとそれだけで勉強になります。自分の知らなかったこと、わかりやすい表現、話し方、色々得るものは大きいです。多くの上級医の説明をそれぞれ聞いて、いいところを掻い摘む、そうすることで患者さんにはとてもわかりやすい説明ができ、信頼関係を構築することができます。患者さんとの対話はどの医師、医療者にとっても大切なことだと思います。

初期研修は大変とは思いますが、まずは医者人生の第一歩として、お互いに頑張っていきましょう。

岡山県医師会研修医登録会員制度への  
申し込みは<http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/kenshuitouroku/> から

## ミニレクチャー

## 医療の中の対立

岡山県医師会 専務理事 笠井 英夫

「お客様は神様です」一世を風靡した白黒TV時代のコマーシャルでした。

患者中心の医療として、医療の主体は医者から患者に移行し、医者は患者の意見を聞いて意思決定がフツーになりました。そのような医師と患者の人間関係が普及するほど患者さんはハッピーになります。でも医者も患者さんもそんなに嬉しそうとは思えません。それどころか医師不足、立ち去り型医療崩壊、地域医療機関の閉鎖、医療事故そして訴訟などなど、だんだん患者と医師が対立関係になって医療が“ダメ”に向かっているように思えてなりません。

医師も人間です、質問に答える患者さんの反応から医師に抱く感情を判断します。医師と患者の信頼関係が良くなれば免疫機能が上がり病気も良くなるでしょう。

慣れてくれば患者さんの取り繕いを見抜くこともできるようになります。しかし、患者さんは時に嘘をつきます。本当は苦しいのに、落ち込んでいるのに、怒っているのに明るく振る舞うことがあります。まずは身体全体を見て、何を求めて受診したのかを聞き出すのです。

医者と患者が平等ならば、患者は医師に正直を求めます。「先生、いつまで生きられるでしょう」「そうですね、あと長くて1ヶ月短くて1週間でしょう」。それよりも「頑張ってくれば良くなりますよ」と手を握る、本当か嘘かの対立よりもその言葉や立ち振る舞いが患者の真意を理解し期待にこたえる事になります。

ここまで読んで頂くと本文のテーマが何かお判りでしょう。医療の世界には沢山の対立があります。

開業医の殆どは元勤務医です。ですから開業医の殆どは勤務医の世界観を良く理解しています。逆に勤務医は開業医のそれを理解しているわけではないのです。(病院のベテラン勤務医は管理、経営など会議に費やされ、そのような世界観について若手医師と語り合う時間も取れません。)即ち、若手医師は開業医と非対称の世界で仕事をしている事になり、お互いの価値観がすれ違う事もあります。

まだまだあります。EBMと経験則、内科治療と外科治療、家庭医と専門医、西洋医学と東洋医学、ワクチンと薬害、都会医療と僻地医療、制度面では保険診療と私費医療、医行為と医療関連職種、医師免許と国際協定などなど。

それら対立を整理し協力して超高齢化社会の医療の目標、即ち健康の価値観と生の意義、要する医療費等々を悩みながら共通の土俵で取り組むのです。

日本には、医療の理念を謳う基本法が無いが故に、刑法に依拠する医師法、医療関連諸法によって医療現場は無秩序に指導と管理、監督されています。

医療の基本理念を医師は、医療は医師と患者の信頼関係に基づく「患者の基本的権利を尊重し、疾病の治療、健康の支援に務めるArt(ヒポクラテス)」と考えます。

それには医療崩壊に象徴される社会的要因により、希薄になってきた信頼関係を阻害する要因を除去するために関係法令を見直し、医療の基本理念、医療政策の基本原則、医療や医療政策の形成に携わる全ての関係者の義務と権利についてバランス良く規定した基本法が医療全体の質を高めると考えます。

医師は専門職として常に自律性と自浄作用により医師の職業と社会的使命を自覚し、教養を深め、人格を高めるよう努めなくてはなりません。医療の実施にあたり、医学知識と技術の研鑽義務につとめ、営利を目的とせず、自己の能力の限界を見極め、必要あれば他の専門家に委ねるなど人命保護に全力を尽くす。患者との関係には信頼関係を基に患者自己決定権を尊重し、患者にも診療に協力を求め相応の責務を求めます。

他方、医療を受ける側の権利を謳えば、医療被害の救済、苦情の解決を求める権利、患者の権利擁護、患者団体の活動促進などを強調しがちとなり、私たちが理念とする医師と患者の信頼関係を構築する法律が目指す趣旨、目的から離れます。

皆さんには、医療から介護と福祉を含む広い視野を持って、他職種と協働して受胎から看取りまで、生の一生を支える、等しい目的と価値観を持って対立を克服し、資本主義である我が国の財政、即ち社会保障費についても深い関心と責任を持ってこれからの医療を担っていただきたい。

## ■ Key Word

医療の基本理念、医師と患者の信頼関係  
対立の克服



## 岡山県医師会 研修医登録会員制度

対象	・岡山県内の医療機関に所属の研修医
入会金・年会費	・無料
利用期間	・臨床研修期間中

## 利用可能なサービス

- 岡山県医師会報を送付
- 岡山県医師会会員専用ホームページの閲覧
- 日本医師会生涯教育講座受講資格
- 研修医レター「Good Doctor」送付
- 医師会主催各種講習会の案内
- 医療倫理、保険診療、医療訴訟などの研修医向け研修会開催
- 日本医師会臨床研修医支援ネットワーク登録

岡山県医師会のホームページより登録フォームに必要な事項を入力してください

<http://www.okayama.med.or.jp/cgi-bin/furusato/mm.pl>

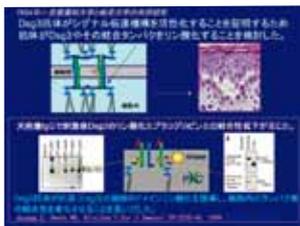
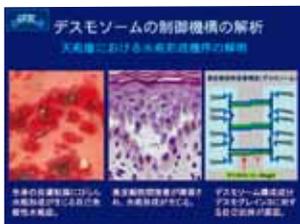
## 第1回 Doctor's Career Café in OKAYAMA (2011.9.10)

### プロ意識の高い医師であり、 かつ魅力ある女性をめざそう！

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚科学 准教授 **青山裕美先生**

岡山大学と山口大学医学部から女性学生が集って交流する本会にて講演をする機会をいただきました。関係者の皆様に御礼申し上げます。

天疱瘡という自己免疫性水疱瘡は、表皮細胞間の接着構造であるデスモソームの構成分子デスモグレイ



イン3に対する自己抗体で発症する疾患です。天疱瘡ではなぜ、細胞間接着力が低下するのでしょうか？ 私達は、天疱瘡抗体によりデスモグレイン3欠損デスモソームが形成され、接着力の弱い細胞に変わるからではないかと仮説を立てて、そのメカニズムを研究しています。研究秘話をご紹介したのですが、子供を産んだばかりの頃から研究をはじめ、基礎系の研究室で細胞の可溶化や分画法を地味に検討していたのです。多くの人に、そんなことが臨床医のキャリアの何になる。などよく言われました。それしかできなかつたからやっていた、無駄に見えるような時間を過ごしながら得た知識と経験が生きて、失敗したと思っていた天疱瘡のデータが復活しました。十数年かけて天疱瘡を含む自己免疫水疱瘡を専門にすることができたわけです。

研究は大変な面も多くありますが、考えることを通じて疾患への理解が深まります。最初は自分が全く興味をもてない分野であったとしてもやっているうちに面白くなってくるものなので、男女問わず若いうちに一度はやっておくと良いと思います。

今回の講演を通じて、自分のキャリアを振り返りますと医師としての責任を全うするにあたって家族(夫や両親)の理解に恵まれただけでなく、職場において同僚上司の理解と指導があってこそ続けることができたことを感じ、改めて感謝しています。恵まれた環境の中であっても、それなりに壁に突き当たる事もありましたから、環境が整わずやむを得ず休職されたが、なかなか復帰のきっかけが掴めない女性医師の皆さんの気持ちは良く理解できます。さらに、そのような大変な環境の中でも、果敢に自ら環境を整えて乗り越えている皆様にお会いすると、モチベーションの大切さを痛感します。

医学部の学生のうちから、卒後には大変な生活が待っていることを覚悟して職を選んで欲しいと思います。さらに壁を乗り越える知恵をネットワークを通じて、先輩から学びましょう。夢、やる気、プロ意識、プライドといった言葉に代表される高いモチベーションは一朝一夕にできるものではないと思います。私は、



今回のキャリアカフェのような学生を対象とした取り組みは非常に有意義なことと感じました。ただ成績が良かったから、安定した職だからと、医学部に入学した学生も少なくないと思いますが、学生のうちに卒後どんな生活が待っているのかを知り、プロを目指す高い意識を持って問題解決に臨むトレーニングをしておくとう良いでしょう。

## 日医生涯教育講座 (2011.11.12) Ai センターと地域医療

独立行政法人放射線医学総合研究所 重粒子医学センター・AI情報研究推進室室長 **海堂 尊先生**

現在の日本は死因不明社会である。日本の死因究明制度は解剖主体であるが、現在の解剖率は2.7%と低落しているためである。また、死因究明の最終目標は、「遺族と市民社会の納得」を得ることである。その点で、解剖主体の死因究明制度は情報公開の速度と流れにおいて、ニーズに応えられないシステムになってしまっている。

こうして社会病態への処方箋としてはAi (Autopsy imaging = 死亡時画像診断) の社会導入が唯一の解決策である。Ai の死因確定率はCTで30%、MRIで60%と言われている。「Aiで死因が解明したケースではそこで死因究明を終了する。Aiで死因が究明されなかったり遺族や市民生活の納得が得られなければ解剖を勧める。」というAi優先主義への移行が必要である。Aiは遺体を損傷しないため、遺族の心情に優しく同意も得やすい。検査結果は迅速に診断され、遺族や医療現場へのフィードバックも早い。診断に不審な点があれば、同じデータを第三者に委託することもできる。つまりAiには「透明性、迅速性、中立性、公平性」という四つの特徴が挙げられるのである。

こうしたAiを社会に根付かせるためには、費用抛出が確定されること、診断システムが樹立されることが重要である。そして、その診断主体を医療現場に置くことにより、司法の介入から独立でき、同時に司法に対し同等の立場で監査も可能になる。しかし、社会ですすでにAiは根付き始めているようだ。2011年10月7日に起きた、子供を巻き込んだバス転落事故で愛知県警はAiにより運転手がくも膜下出血を起こしていたことをその日のうちに確認し、マスコミに発表した。早期の原因解明により人為的ミスではなかったことが社会の共通認識になったことは、運転手、その遺族、バス会社の名誉を救ったことになる。

死因究明は何のためか? 次の医学の進歩のため、市民社会のリスクを低減させるため、最終的には遺族と市民社会が納得するために行うものと考える。

この講演後、海堂氏は「それから岡山県医師会に招かれた生涯教育講座の講演会では、やはり岡山でも医師会を中心にAi実施が進みそうです。やはり、良質な医療提供を考えているのは、医師会がメインのようで、役所や学会はダメな気がします。」というコメントをホームページに載せられました。

Aiに興味をもたれた方はご参考に。➡



## 第2回 Doctor's Career Café in OKAYAMA

「子連れでも勉強しよう」 子育て中の女性医師を支援する会  
平成24年2月4日 ㊦ 無事終了いたしました。

- ❁ 皮膚病理カンファレンス (CPC) —皮膚血管炎—
  - ❁ ミニレクチャー  
「楽しい皮膚病理 ～血管炎を中心に～」 九州中央病院 皮膚科 菊池智子先生
  - ❁ 子育て中の悩みディスカッション  
「子連れ専門医試験体験談」 岡山大学皮膚科 松本弥生先生
  - フリーディスカッション
- 企画/松本弥生・橋本倫子・深松紘子・青山裕美・神崎寛子



### お知らせ

### 学会出席時に託児施設をご利用下さい

岡山駅前の託児施設に学会出席中の託児を特別料金でお願いしています。利用には岡山県医師会保育支援事業への申し込みと託児施設への事前予約が必要です。詳しくは岡山県医師会へお問い合わせ下さい。  
岡山県医師会主催の教育講座等への出席の際の会場での無料託児は従来どおり行っております。ご利用下さい。

詳細は <http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/joseishi/youkou.html>

### 岡山マッチングプラザ2012

～医学生・医師と医療施設との情報交換～

- 日時：平成24年5月27日 ㊦ 11:00～16:00
- 場所：岡山コンベンションセンター  
岡山市北区駅元町14番1号
- 対象：岡山県及び中国四国等の医療施設での研修・就職に興味を持つ医学生・研修医・一般医師
- 参加費：無料
- 主催：NPO 法人岡山医師研修支援機構

詳細は <http://www.ishikenshuushien.com/boad/index.shtml>

## 第3回 Doctor's Career Café in OKAYAMA

「夢をかたちに…外科医になろう」  
岡山県医師会外科部会・岡山外科医会合同講演会

- 日時：平成24年3月28日 ㊦ 19:00～
- 場所：岡山プラザホテル 4F 鶴鳴の間
- プログラム：
  - 講演1 「NSAID 投与による胃粘膜障害とリスクの対処について」  
時末消化器科内科医院 院長 時末 充 先生
  - 講演2 「岡山県肝炎協議会の肝炎撲滅運動について」  
川崎医科大学肝臓内科学 教授 日野 啓輔 先生
  - 講演3 「ハーバード大学教育病院での臨床経験」  
山口宇部医療センター 外科系診療部長 岡部 和倫 先生

☆外科系志望の初期研修医、外科研修中のシニアレジデントの皆様、ご参加ください。

岡山県医師会男女共同参画事業  
岡山大学医療人キャリアセンター MUSCAT  
NPO 法人岡山医師研修支援機構

## 男女共同参画事業

- 学生(医学科5年生) 対象アンケート (H23.3～4実施) 報告書  
学生が考える医師不足・医師の偏在についてのアンケート

詳細は <http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/kenshuuitourouku/files/questionnaire.pdf>

- 男女共同参画事業企画講演会 講演録

詳細は <http://www.okayama.med.or.jp/topcontents/kenshuuitourouku/kyoudousankaku/index.html>

- Good Doctor  
Vol.1 <http://www.okayama.med.or.jp/>  
Vol.2 <http://www.okayama.med.or.jp/>

## 編集後記

おかげ様で「Good Doctor」も3号を発行することができました。3月は旅立ちの季節です。研修医の中には2年間の研修を終え、専門研修に入られる先生もいらっしゃるでしょう。岡山済生会病院で専門研修中の足立卓也先生から後輩の皆様へということでメッセージをいただきました。ミニレクチャーは笠井英夫理事に医療の基本とは何かについて医療の中の対立に注目して書いていただきました。

9月10日に開催しました第1回Doctor's Career Caféで講演いただきました岡山大学皮膚科学教室の青山裕美先生の抄録を掲載しています。講演録は岡山県

医師会のホームページより閲覧できます。青山先生の研究者としての歩みと若い先生方へのメッセージが詰まっています。また、日医生涯教育セミナーで講演いただいた海堂 尊先生の「Aiセンターと地域医療」の抄録を掲載しました。海堂先生はご存知のように作家として活動されていますが、病理医として臨床現場で仕事をされています。このような立場の先生のお話をお聞きして、現在の研修には直接かわりがないかもしれませんが、医師として死因を究明するということは忘れてはいけないことだと思いましたので皆さんに紹介します。

岡山県医師会では皆さんのお役に立つようDoctor's Career Caféを開催しています。引き続き、子育て中で勉強の機会の少ない先生方や将来専攻する科を悩んでいる先生方にお役に立てるような企画にしたいと考えております。

(神崎)